

号外

ありがとう  
神坂幼稚園  
閉園特別号

老報

みさか

令和6年5月1日

発行：神坂地区区長会・神坂事務所

住所：中津川市神坂294-2

TEL：0573-69-4111

FAX：0573-61-0002

## 神坂幼稚園が惜しまれつつ閉園

昭和35年開園以降、63年間この地区の幼児教育を担ってきた神坂幼稚園が令和5年度をもってその歴史に幕をおろしました。

3月26日(火)には教育委員会主催の閉園式が行われ(9時半開式)、園児や保護者のほか、園にゆかりのある関係者が招かれ、閉園を惜しみました。

神坂幼稚園に通っていた園児2名は、現在、4月に開園した「落合神坂こども園」に通園しています。



●小栗市長も駆けつけあいさつを述べました



●あんこ・きな粉、マネズ'おかか'の3種類の餅に皆さん舌鼓

ありがとうの会は、園児と先生による太鼓の演奏でスタート。会場では、地域の方が準備した五平餅や餅がふるまわれ、来場者はそのおいしさに舌鼓をうち、大いに賑わいました。園を卒園した小中学生らが大勢参加しており、閉園の記念に餅つきを楽しみ、自らがついた餅を味わいました。

## ありがとうの会に約250名が参加！

閉園式の後、10時15分より神坂幼稚園主催の「ありがとうの会」が行われ、園の最後を見届けようと、雨天にも関わらず約250名の区民が来場しました。

園内には、63年間の卒業写真や過去の園だよりが展示され、それを見た来場者は、互いに昔を懐かしみ談笑していました。



●スタッフに教えてもらいながら餅つきを楽しむ子ども達



●園児、保護者、先生が心を一つにして園歌を熱唱

会の終盤には、先生と園児・保護者全員で、「ふるさと」と園歌「み・み・みさかようちえん」を披露。来場者もその歌を口ずさみ、会場が一体になって最後を惜しみました。

終わりの挨拶では、園長が涙ながらに感謝の気持ちをお伝えし、思わずもらい泣きする方も。最後に、園と交流の深い老人クラブや民生児童委員協議会から、先生と園児にサプライズの花束が送られ、会場には恵那山に届くほどの盛大な拍手が響き渡りました。

# あいがとうの会は、多くの方の協力により実施できました！

閉園式とあいがとうの会に大勢ご参加いただき、63年の最後的一幕を盛大に飾ることができましたが、ひとえに本事業に関わった多くの関係者のご協力の賜物に他なりません。

今回は、地区の方に大勢お越しいただき園の最後のひと時をお楽しみいただくため、五平餅 650 本、餅 6 白をご用意しました。



●取組の中心的な役割を担った湯舟沢レディースの皆さん

必要な資材も多くの方にご提供いただいています。

五平餅のタレは、園児と先生が愛情をこめて仕込みました。もち米は、神坂小学校 5 年生が稲作体験で収穫したものです。五平餅の串は、塩野地区の張山英雄さんが心を込め手作りしました。

このように、多くの方々の心意気とご協力があったからこそ、盛大にあいがとうの会を行うことができたのです。



●五平餅は、前日に握って準備し、当日に老人クラブや区長会などが協力して焼きました



これについては湯舟沢レディースの皆さんによる材料の用意や準備・当日の手配などの多大なご協力があり実現できました。前日には大量の五平餅や餅米の仕込みをこなし、当日は早朝から餅米を蒸し、餅をついて握ってと大活躍でした。

会場では、朝から区長会や老人クラブ、青少年健全育成推進市民会議、社会福祉協議会、小中学校の先生方など多くの関係者が、会場を設営し、炭をおこして五平餅を焼いたり、餅つきを手伝ったりと大忙しでした。

園も、来た方を楽しませたいと、会場を素敵に飾りつけし、また、園児・保護者・先生が太鼓や園歌の披露に向けて練習を重ねました。太鼓は、湯舟太鼓の鈴木愛子さんが指導してくれました。



●壁に貼り出された過去の園だよりと、それを熱心に読む来場者



## 園長先生より地域の皆様へお礼の言葉



3月26日の神坂幼稚園閉園式並びにあいがとうの会に際し、神坂地区区長会をはじめ、湯舟沢レディース、老人クラブ、社会福祉協議会、青少年健全育成推進市民会議、神坂事務所、小学校、中学校、これまで神坂幼稚園に関わってくださった方など、ここに書ききれないほど多くの皆様にご参加とご協力をいただきました。懐かしい顔を見つけて歓声があがったり、昔話に花が咲いたりする様子を見て、本当にうれしく、皆様のおかげで盛大な会が開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

来賓の方、教育委員会の方に「神坂の地域力はすごいなあ」「さすが神坂やなあ」と何度も声をかけていただきました。そうです！神坂はすごいのです！たくさんの愛情と親切と、大きな力をもって…と改めて実感できた一日でした。神坂幼稚園は落合と統合し『落合神坂こども園』となりますが、このたくさんの愛情と親切と大きな力を、今後は落合神坂こども園にもいただきたいです。将来にわたり、ふるさと神坂を愛し、中津川市を愛してくれる子を育むため、どうぞ力を貸してください。神坂でいただいた優しさを力に変えて、職員一同、落合神坂こども園で一生懸命努めて参ります。本当にありがとうございました。

落合神坂こども園長 加藤美佐子（元神坂幼稚園長）